

女性現実研究所 資料『女性現実物語』

本部セクター (センター)

連携入居施設 (女子シェアハウス) のご案内



まるで物語のような女性の現実に寄せて

初版：2003年10月13日

最終更新：2019年9月14日

～ 著者 ～

◆女性現実研究所 代表スタッフ (代表ウォッチャー、男女)

～ 編者 (女性からのご相談、ご投稿、情報提供の受付および本著の編集) ～

◆女性現実研究所 幹部女性スタッフ (幹部女性ウォッチャー) 一同

～ ご協力者 (代表および幹部女性スタッフ一同より厚く御礼申し上げます) ～

◆女性現実研究所 一般女性スタッフ (一般女性ウォッチャー) の皆様

(社会人女性スタッフ、主婦スタッフ、女子大学生スタッフ、女子高校生スタッフ)

◆女性現実研究所にご相談、ご投稿、情報提供して下さった全ての女性の皆様

(本著では、女性ご本人から公表のご希望やご許可を頂いた事例のみを取り上げておりますが、全ての女性にメール返信や面談などの個別対応を行っております。)

目次

1. ごあいさつ、女現研連携入居施設（女子シェアハウス）について
 - 1) 女現研連携入居施設（女子シェアハウス）とは
 - 2) ご連絡・ご入居方法について
 - 3) 私たちの自主独立性・機密性（情報公開についての考え方）
 - 4) シェアハウス運営のしくみ
 - 5) スマートフォンなどの私物の没収について
 - 6) シェアハウス・事務局の正式名称・所在地・電話番号、
幹部会・総会議事録、事業報告、財務諸表、出資者・支援者一覧
 - 7) 国や民間調査機関によるサードセクター等の調査への回答について
 - 8) ご寄付・カンパについて
 - 9) 私たちの法人化の意思について
 - 10) 報道機関への対応について
2. シェアハウスの設備
 - 1) 国内施設
 - 2) 海外ハウス
3. 一週間のスケジュール
4. 年間イベント
5. 研究会
6. 個室での暮らし
 - 1) 個室 A～D タイプでの対策（精神症状・性被害女性用ルーム）
 - ア) 個室 A～D タイプで受け入れている女性のタイプ
 - イ) 鏡・ガラス窓などの対策について
 - ウ) 鋭利な物体・家具類の対策について
 - エ) ぬいぐるみ・人形・衣服掛けなどの置き場所の対策について
 - オ) 夜間の消灯・廊下の明かりの対策について
 - 2) 個室 E～H タイプでの対策（身体症状・性依存・性的倒錯・性症状女性用ルーム）
 - ア) 個室 E～H タイプで受け入れている女性のタイプ
 - イ) 個室 A～D タイプとの共通の対策について
 - ウ) 持続性性喚起症候群（PSAS）や女性器・肛門痙攣の症状に伴う
羞恥心や音量が気になる女性用の対策について
 - エ) 持続性性喚起症候群（PSAS）や女性器・肛門痙攣の症状に耐える際の
かきむしり用タオルなどの持ち込みについて
 - オ) 過剰な量のアダルト媒体・性玩具の持ち込み対策について
 - カ) マスターベーション・オーガズム・アダルトコンテンツ（AV など）依存の

リハビリ

キ) 性玩具・アダルトグッズ依存のリハビリ

ク) セックス・女性間性行為・性的倒錯 (異常性行為) 依存のリハビリ

ケ) アダルトコンテンツ (AV など) 出演・援助交際・売春・性風俗業依存の
リハビリ

3) 地下シェルター

4) 個室 A~D で生活している女性のタイプ一覧 (精神症状の女性)

5) 個室 E~H で生活している女性のタイプ一覧 (身体症状の女性)

7. 現在の入居状況

1) 国内施設 (東京本部)

2) 海外ハウス

8. 入居案内

1) 入居の条件

2) 入居をお断りしている女性

3) 入居の方法

4) 例外措置

5) 退去処分

6) 幹部スタッフへの登用について

7) 調査通告部の幹部スタッフへの登用について

8) ご入居条件の厳格化について

9) 性感染症・性病の検査のお願い

10) 危険ドラッグなどの意図せぬ使用の可能性の報告のお願い

11) 性被害の証拠となる書類・画像・動画などの提出のお願い

12) 被写体として強制的に出演させられたアダルトビデオ (AV) などの
ご教示のお願い

13) 自らの意志で AV・アダルト動画などに出演したり

セックスワーカーとして働いたりしている女性のご入居について

14) 個室から管理室・管理人への連絡

15) 一時保護について

16) ひきこもり・うつ防止 (散歩・ジョギング)

17) 避難訓練・消防設備の点検などについて

18) 20 代女性の梅毒感染の急増および検査のお願いについて

19) 悪質な公益法人・NPO 法人などによる虐待・暴行・詐欺・人身売買等の
被害女性のご相談・入居希望の増加および私たちの立場について

9. 組織図、各部班

(現在、当シェアハウスの組織は女性現実研究所の組織にならい再編されています。)

女性現実研究所（Women's Real-Life Research Laboratory、WRLRL、ウィルール）

- 1) 組織図、入居者数、年齢
 - 2) 幹部女性の職種・資格一覧
 - 3) 入居女性の職種・資格一覧
 - 4) 特別設置組織（大学などのゼミ・特別講座から移管したもの）
10. 入居女性の別参加団体
 11. 同型の女子シェアハウス

1. ごあいさつ、女現研連携入居施設 (女子シェアハウス) について

1) 女現研連携入居施設 (女子シェアハウス) とは

私たち女現研メンバーの一部が暮らす女現研連携入居施設 (女子シェアハウス) についての詳しい説明です。

女現研連携入居施設 (女子シェアハウス) は、女性スタッフと、精神症状・身体症状・特殊知覚を抱える入居女性たちの自助努力による、共益的なシェアハウス型女性施設、新しいモデル生活施設です。今の入居女性たちが、入居前、一緒に性の問題についての交流会・勉強会に参加したことがきっかけで、集住するようになったものです。

出資者・支援者・最高代表・特別顧問・システム管理者を除くシェアハウスの全スタッフ (同居・宿直・フロントなど) が女性です。

最近では、幹部女性の多くも他の仕事が忙しくなっており、女現研の事務所・活動場所としてよりは、女子寮 (帰って寝る場所) としての機能が高くなっている当シェアハウスですが、女性の性愛研究という原点を忘れず、そこから今の女性たちの性被害や性依存の実態を見つめていきたいと考えております。

当シェアハウスは、医療機関、NPO 法人、公益法人、社会福祉法人、宗教法人などではございませんので、ご注意ください。女性たち自身による自立・自助コミュニティ (共益的な任意団体) です。

当シェアハウスにおける活動やリハビリ、レクリエーションは、あくまでも入居女性が安心感を得たり悩みを発散できる生活の場を提供することが中心で、医療行為としてのリハビリは当シェアハウスでは実施しておりません (当シェアハウスは医療機関ではございません) ので、ご理解下さいますようお願い申し上げます。

なお、入居女性たちの身柄・生命や個人情報を保護するため、ウェブ上では、研究所事務局・寮の建物の登記上の正式名称を公開しておらず、これとは異なる仮称の建物名を名乗っております。ウェブ向けの名称は、メールでのご連絡の宛名などにお使いください。

■代表兼女性シェアハウスオーナー： 長谷川彩

■副代表女性シェアハウスオーナー代理： 森野あさひ

■寮母・事務局長： 鈴木優子

2) ご連絡・ご入居方法について

* 事務局・シェアハウスの私書箱または所在地をご存じの関係者各位は、書類等をご郵送いただくことが可能です。

* それ以外のサイトご訪問者・非入居女性の方は、メールにてご連絡を受け付けております。症状などをご相談下さい。

* 申し訳ございませんが、現在、事務局・シェアハウスの所在地についてのお問い合わせは、最高代表・特別顧問・システム管理者を通じて受け付けております。（入居女性の安全性確保のため。）

* 現在、新規のご入居は、女性スタッフ・入居女性の紹介による場合がほとんどとなっております。ご了承下さい。

※ 2015年以降にご入会希望のご連絡を下された皆様へ

現在、入居者が想定の数に達しており、また運営のよりいっそうの効率化・整理のため、新規会員募集を停止しております。募集再開の日程が決まりましたら、お知らせいたします。大変申し訳ございません。

2014年後半にご連絡を下された方々の中にも、受け入れることができなかった方々が何人かいらっしゃいます。大変申し訳ございません。

また再開の目途が立ちましたら、ご連絡申し上げます。

3) 私たちの自主独立性・機密性（情報公開についての考え方）

私たちは、いかなる自治体、行政、NPO、女性人権団体、民間団体、企業、他のDVシェルター、宗教団体などとも一切の利害関係を持っておりません。被害女性たちの友人やパートナーの出資により、被害女性たちを守る共益的な共同体（任意団体）として機能しています。

「女現研連携入居施設」は、シェアハウス内でのコミュニティとしての名称およびウェブサイト上での紹介としての名称で、建物の正式名称（シェアハウスのエントランスや側壁に掲げているシェアハウス・ハイツとしての名称）とは異なります。事務局・シェアハウスの正式名称・所在地・電話番号などは、入居女性の個人情報や身柄への影響を考慮し、当サイト上やインターネット上では公開しておりません。ご了承下さい。

ただし、入居女性・旧入居女性の症状の実例や医学的な解説、本人たちのコラムやエッセイなどについては、個人情報を除き、積極的に公開していく所存です。

何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

4) シェアハウス運営のしくみ

当シェアハウスは、支援者および女性スタッフ（被害女性たちの友人やパートナー）の

私財の投入（出資・寄付）、入居女性からの家賃収入、システム・コンピューターの知識の豊富な特別顧問による無償でのシステム管理・パトロールなどにより、共益的運営が維持されています。全てが、女性たちの自助努力および個人支援者の方々のご協力で成り立っております。

（ただし、ネット上での支援者・入居者の募集はおこなっておりませんのでご了承下さい。）

女性たちの自助グループとしては、女性シェアハウスの運営・維持・管理などの全てを自ら行う自主独立の任意団体の形で機能し、女性シェアハウスとしては、オーナーと入居女性との間で賃貸借契約が締結されています。

5) スマートフォンなどの私物の没収について

現在、日本国内の民間団体（NPO 法人・公益法人・社会福祉法人・宗教法人など）が運営する多くの犯罪・DV・虐待被害女性用の情報秘匿型シェルター・シェアハウスでは、入居の際、一部の私物・私財を没収する形での加害者対策が取られております。

とりわけ、加害者である家族・親族や知人・友人との連絡を絶たせ、情報・買い物・趣味・娯楽などの制限を行うため、入居女性のスマートフォンなどの通信機器を没収して、電話、メール、インターネット、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、ネットショッピングなどを使用不可にする対策が多く見られます。

（代わりに、決められた日用品や軽作業用の衣服の配布などがおこなわれています。）

これを違法とする判例は見当たらず、むしろ一定以上の即効性や犯罪抑止力があるためか、日本では、自治体などの公的機関や第三セクターが運営する近隣の情報秘匿型シェルターでも、私物の没収は一般化しております。インターネット上に情報秘匿型女性シェルターの情報がほとんど存在していないのは、その成果による部分も大きいと言えます。事実上、原始共産制（私有財産の没収）と言える閉鎖的なシステムを敷いているシェルターもあり、この場合は、女現研が研究対象とし別途論じているヤマギシ会のような体制に似ていると言えます。

当シェアハウスでは、さまざまな議論はありましたが、結果として私物の没収はおこなっておらず、スマートフォンなどの使用（電話、メール、SNS、インターネット）も自由です。ただし、その分、入居の条件やシェアハウスの情報の意図的漏洩に対する処分などを厳しくしております。

私物の管理や使い方には十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

6) シェアハウス・事務局の正式名称・所在地・電話番号、 幹部会・総会議事録、事業報告、財務諸表、出資者・支援者一覧

現在の入居女性および出資者・支援者・最高代表・特別顧問・システム管理者は、ログインページでこれらをご覧ください。そのほか、当シェアハウス・事務局の正式名称・所在地・電話番号や事業・財務状況などの記入・回答状況については、次項の通りです。

7) 国や民間調査機関によるサードセクター等の調査への回答について

国・官公庁による経済センサス調査や民間調査機関によるサードセクター等に関する各種調査においては、当シェアハウス・事務局の正式名称・所在地・電話番号などの情報やその他の各種登記情報、事業・財務状況を記入・回答しております。

8) ご寄付・カンパについて

平素よりのお心遣いに心より厚く御礼申し上げます。現在、十分なお支援を頂いており、追加のご寄付・カンパは必要としておりません。

9) 私たちの法人化の意思について

しばしば当シェアハウスの法人化（NPO、社会福祉法人、一般法人、公益法人など）のご提案を頂き、ありがたく思っておりますが、現在のところ法人化の予定はございません。ご理解いただければ幸いです。

権利能力なき社団と見なされる社団の権利・義務の帰属は、その構成員に解消されるため、現状では、権利上や税法上は大損ばかりしていると言えますが、それでも個人事業主・個人支援者の皆様方の善意や代表・幹部女性各自の私費の投入による任意団体としての運営は、私たちには大切なことだと思えます。

法人化すると、法令上の様々な権利が得られると同時に、様々な義務事項（事業所の登記など。法人の登記事項と法人ナンバーは誰でも入手できる）が発生しますが、私たちは、加害者に対していかなる所在情報も渡すべきでない被害女性たちの生活を預かっております。昨今の社会的弱者や障害者施設を標的とした襲撃・殺傷事件や、DV、ストーカー犯罪、性犯罪などの現状に鑑み、入居女性の個人情報や身柄を保護するため、法人化の予定はございません。

10) 報道機関への対応について

大変申し訳ございませんが、入居女性の個人情報や身柄への影響を考慮し、特別な場合を除き、取材等にはほとんどお答えできません。

2. シェアハウスの設備

1) 国内施設

現在、国内施設は、当施設と一体的に運営されている女性現実研究所の組織構造にならない、下記のように区分されている。

X. 共用設備

- A. 個室（主に性被害女性向け。被害感情が極めて大きな女性。）
- B. 個室（主に性被害女性向け。被害感情が大きな女性。）
- C. 個室（主に性被害女性向け。被害感情にやや性依存の自覚が混じった女性。）
- D. 個室（主に性被害女性向け。被害感情と共に性依存の自覚が見られる女性。）
- E. 個室（主に性依存。性的倒錯・性症状女性向け。性依存などの自覚と共に被害感情が見られる女性。）
- F. 個室（主に性依存・性的倒錯・性症状女性向け。性依存などの自覚にやや被害感情が混じった女性。）
- G. 個室（主に性依存・性的倒錯・性症状女性向け。性依存などの自覚が大きな女性。）
- H. 個室（主に性依存・性的倒錯・性症状女性向け。性依存などの自覚が極めて大きな女性。）
- I. 地下シェルター

建物階	地上2階、地下1階（全面禁煙）
個室数	48室
共用設備	メインエントランス、メールボックス、シューズボックス、24時間セキュリティ・防犯カメラ 会議室 サイバーシステム室 食堂、キッチン（10人ほどが一緒に調理できるスペースです。） 談話室、和室

	<p>リビングルーム（テレビ、DVD デッキ、ソファーなどがあります。） 保健室（救急用具、市販の医薬品、簡易検査キット、ベッド、担架などが配備されています。） トイレ、バスルーム、脱衣ルーム、洗面所、ランドリールーム、リネン室 バルコニー 駐車場（3 台） 駐輪場（30 台） 管理室（シェアハウス事務局） オーナー・オーナー代理・フロント班の必ず誰か（女性）が待機しています。 全個室から管理室への緊急連絡が可能です。</p>
ユニット内 共用設備	<p>トイレ、シャワーブース、洗面所</p>
個室	<p>約 5.5 畳 机、イス、ベッド、クローゼット、エアコン、冷蔵庫、照明、カーテン、テレビ、電話、インターネット回線、管理室直通インターホン （精神・身体症状を抱える女性に特化した住環境を考慮し、やさしい色合いや模様インテリアや家具を可能な限りそろえています。個室に持ち込める共用パソコンなども完備しています。）</p>
食事	<p>月～土曜日：朝食・夕食を提供。 日曜日はなし。（キッチンでの協働による自炊の日です。）</p>
門限	<p>開：6 時 30 分、閉：23 時 00 分</p>
外泊	<p>届け出により可能。</p>
男性の立ち 入り	<p>一般男性は入居・立ち入り共に不可。ただし、特別に許可された専門家・研究者・医療関係者、二親等以内の親族男性（加害者でない場合に限る）、警備保障会社の警備員、消防・ガス設備点検員、水道局員、庭師、女性現実研究所の最高代表スタッフを兼ねる特別顧問・システム管理者の男性などの立ち入りは可。</p>
入居期間	<p>1 年更新（更新料なし）</p>
月額費用	<p>家賃：計約 65,000 円（賃料、食費、ガス・水道・電気使用料、管理費） （犯罪被害などによるトラウマや PTSD などの後遺症のために就業や外出が可能でない入居女性と生計を一にしている女性スタッフ・入居女性・外部支援者は、内訳について要相談。）</p>
入居費用	<p>入居費：60,000 円 （入居時のみ。上記の通り、就業や外出が可能でない入居女性と生計を一にしている女性スタッフ・入居女性・外部支援者は、内訳について要相談。）</p>

周辺環境	周辺にはスーパー、コンビニ、美容室、カフェ、雑貨屋、商業施設、駅などがあります。
------	--

2) 海外ハウス

* 海外での治療、リハビリ、レクリエーション（日本では行われていないもの）を受けている女性のために、当該国に上記の半分ほどの規模の女性専用シェアハウスを借りています。運営上もご生活上も、当該国の法律・条例が適用されますので、ご注意くださいと存じます。

3. 一週間のスケジュール

日曜日	
6:30	開門
6:30~	起床、身支度、朝のあいさつ、朝食（キッチンでの協働による自炊の日です。）、ココ・カラ・チェック（心と体の自己確認）、通勤・通学・外出または個室に戻る
8:30	
17:30~	夕食（キッチンでの協働による自炊の日です。）
19:30	
19:40~	自由相談室（自由参加）
20:30	
20:40~	幹部会、今週の予定会議
21:30	
23:00	閉門
月曜日	
6:30	開門
6:30~	起床、身支度、朝のあいさつ、朝食、ココ・カラ・チェック（心と体の自己確認）、通勤・通学・外出または個室に戻る
8:30	
18:30~	夕食

女性現実研究所 (Women's Real-Life Research Laboratory, WRLRL、ウィルール)

19:30
19:40～ ココロの時間 (自由参加。幹部女性スタッフの授業、入居女性どうしの議論。)
20:30 【統合失調症、気分障害】
20:40～ カラダの時間 (自由参加。幹部女性スタッフの授業、入居女性どうしの議論。)
21:30 【むずむず脚症候群、片頭痛、自律神経失調症】
23:00 閉門

火曜日

6:30 開門
6:30～ 起床、身支度、朝のあいさつ、朝食、ココ・カラ・チェック (心と体の自己確認)、通勤・通学・外出または個室に戻る
8:30
18:30～ 夕食
19:30
19:40～ ココロの時間 (自由参加。幹部女性スタッフの授業、入居女性どうしの議論。)
20:30 【不安障害、恐怖症、強迫性障害、PTSD、解離性障害】
20:40～ カラダの時間 (自由参加。幹部女性スタッフの授業、入居女性どうしの議論。)
21:30 【持続性性喚起症候群 (PSAS・PGAD)、むずむず性器症候群 (ReGS・RGS)、陰核過敏症 (クリトリス痙攣)】
23:00 閉門

水曜日

6:30 開門
6:30～ 起床、身支度、朝のあいさつ、朝食、ココ・カラ・チェック (心と体の自己確認)、通勤・通学・外出または個室に戻る
8:30
18:30～ 夕食
19:30
19:40～ ココロの時間 (自由参加。幹部女性スタッフの授業、入居女性どうしの議論。)
20:30 【摂食障害、睡眠障害】
20:40～ カラダの時間 (自由参加。幹部女性スタッフの授業、入居女性どうしの議論。)
21:30 【ヴルヴォディニア (Vulvodinia)、ワギニスムス (膣痙・膣痙攣・Vaginismus)、クリトロディニア (Clitorodinia)、肛門過敏症、肛門痙攣】
23:00 閉門

木曜日

- 6:30 開門
- 6:30～ 起床、身支度、朝のあいさつ、朝食、ココ・カラ・チェック（心と体の自己確認）、通勤・通学・外出または個室に戻る
- 8:30
- 18:30～ 夕食
- 19:30
- 19:40～ ココロの時間（自由参加。幹部女性スタッフの授業、入居女性どうしの議論。）
- 20:30 【性依存症、性的倒錯、ニンフォマニア】
- 20:40～ カラダの時間（自由参加。幹部女性スタッフの授業、入居女性どうしの議論。）
- 21:30 【女性性器脱、処女膜輪狭小、外陰萎縮、外陰肥大、陰唇癒合、肛門脱（脱肛）】
- 23:00 閉門

金曜日

- 6:30 開門
- 6:30～ 起床、身支度、朝のあいさつ、朝食、ココ・カラ・チェック（心と体の自己確認）、通勤・通学・外出または個室に戻る
- 8:30
- 18:30～ 夕食
- 19:30
- 19:40～ ココロの時間（自由参加。幹部女性スタッフの授業、入居女性どうしの議論。）
- 20:30 【パーソナリティー障害】
- 20:40～ カラダの時間（自由参加。幹部女性スタッフの授業、入居女性どうしの議論。）
- 21:30 【乳頭・乳輪・乳房過敏、副乳頭 (Polythelia) ・副乳輪 (Polythelia Areolaris) ・副乳房 (Polymastia) 過敏】
- 23:00 閉門

土曜日

- 6:30 開門
- 6:30～ 起床、身支度、朝のあいさつ、朝食、ココ・カラ・チェック（心と体の自己確認）、通勤・通学・外出または個室に戻る
- 8:30
- 18:30～ 夕食
- 19:30
- 19:40～ 支援者・最高代表や入居女性の親族・友人男性の皆様との講話会（自由参加）

20:30

20:40～ 今週のおさらい

21:30

23:00 閉門

4. 年間イベント

●屋内イベントはシェアハウスにて実施しています。

1月 初詣・新年会

2月 節分・豆まき会、幹部会・総会

3月 ひな祭り

4月 お花見会

5月 幹部会・総会、幹部選出選挙 (2年に一度)

7月 夏期旅行

9月 お月見会

10月 ハロウィンパーティー

12月 クリスマス会・忘年会

5. 研究会

シェアハウスで研究会を開催したり、シェアハウス外の研究会に参加したりしています。最高代表の男性にも、不定期で講話会をお願いしております。

* シェアハウス内での開催の場合

日時：入居女性に随時伝達

会場：主にシェアハウスの会議室、談話室、和室

6. 個室での暮らし

1) 個室 A～D タイプでの対策 (精神症状・性被害女性用ルーム)

ア) 個室 A～D タイプで受け入れている女性のタイプ

個室 A～D タイプでは、主に精神症状・性被害を抱える女性にお住まいいただいております。

被害の程度や被害女性のトラウマの程度に合わせて、以下のように改装・模様替えがしやすい作りとなっております。

イ) 鏡・ガラス窓などの対策について

被害により鏡やガラス窓に映る自身の姿などが怖いといった恐怖症状を発症した女性の個室につきましては、バスルーム・洗面所の鏡を撤去したり、ガラス窓を磨りガラスに変えるなどの改装が可能です。

（ただし、日光を完全に遮断しない程度の適度な方法でのご使用をお願いしております。）

ウ) 鋭利な物体・家具類の対策について

被害により鋭利な突起物や小物、家具類が怖いといった先端恐怖症を発症した女性の個室につきましては、これらをなるべく撤去・収納したり他の個室や共用スペースに移動したりする改装が可能です。

エ) ぬいぐるみ・人形・衣服掛けなどの置き場所の対策について

被害によりお気に入りのぬいぐるみや人形がなければ落ち着かなくなった女性には、逆に被害によりぬいぐるみや人形が怖くなった女性の個室にそれらをむやみに持参して遊びに行かないようお願いしております。

ただし、自分自身の個室内については、好みに合わせてそれらを持ち込むことが可能です。

また、人間の立ち姿に近い形で衣服を掛けられる家具類（加害者の立ち姿がフラッシュバックしやすい）につきましても、希望により撤去するなどが可能です。

オ) 夜間の消灯・廊下の明かりの対策について

被害により暗闇や薄明かりが怖いといった恐怖症状を発症した女性につきましては、個室の電気の明るさを調節するほか、夜中は管理室にご連絡いただければスタッフがトイレに付き添うことが可能です。

（ただし、睡眠の妨げにならない程度の対策とさせていただきます。）

2) 個室 E~H タイプでの対策 (身体症状・性依存・性的倒錯・性症状女性用ルーム)

ア) 個室 E~H タイプで受け入れている女性のタイプ

個室 E~H タイプでは、主に身体症状・性的逸脱を抱える女性にお住まいいただいております。性依存・性的倒錯・性症状については、以下のような女性にお住まいいただいております。

- 性依存・性的倒錯 (性被害によって意図せず性依存・性的倒錯が発生した場合を優先。)
ニンフォマニア (女子色情症・Nymphomania)、パラフィリア (性的倒錯・Paraphilia)、マスターベーション依存、セックス依存、女性間性行為依存、レズビアン、ミソジニー、ミサンドリー、アダルトビデオ依存、性玩具依存、SM 行為依存、スカトロジー依存、野外露出依存、AV 出演・援助交際・売春依存、被レイプ願望、対物性愛
- 性症状 (おもに性器神経症)
持続性性喚起症候群 (PSAS・PGAD)、むずむず性器症候群 (ReGS・RGS)、陰核過敏症 (クリトリス痙攣)、ヴルヴォディニア (Vulvodynia)、ワギニスムス (膣痙攣・Vaginismus)、クリトロディニア (Clitorodynia)、肛門痙攣

また、性被害を受けたことを機にこれらを発症した女性は、個室 A~D と個室 E~H のどちらでもお選びいただけます。特に、加害者に取り入って好かれることで加害者の暴行を軽減させようという本能などから、反抗せず性的暴行を受け入れているうちに、図らずも性的絶頂感に達してしまい、それが自分の希望であると感じるようになり、被レイプ願望やマソヒズム願望が病的に嗜好化してしまった女性 (精神医学的にはストックホルム症候群などと呼ばれます) も、受け入れております。

持続性性喚起症候群 (PSAS・PGAD) などの神経症状をお持ちの女性につきましては、性依存・性的倒錯とは言えないものの、症状の克服・リハビリの方法がそれらに似ていることなどもあり、どちらかと言えば個室 A~D タイプよりも個室 E~H タイプのほうがふさわしいことから、個室 E~H をおすすめしております。

イ) 個室 A~D タイプとの共通の対策について

個室 A~D タイプにて紹介した対策は、個室 E~H タイプでも実施可能です。

ウ) 持続性性喚起症候群 (PSAS) や女性器・肛門痙攣の症状に伴う羞恥心や声量が気になる女性用の対策について

上記の通り、PSAS や女性器・肛門痙攣の女性は個室 E~H へのご入居が適しておりますが、とりわけ強い羞恥心を伴う女性や、オーガズム時の声量などが気になる女性につきましては、簡易な防音パネルや防音グッズを設置することができます。

ただし、ほとんど心理的な意味での（安心感を得ること自体が目的の）対策であり、テレビなどの音量と同じ原理で、意図的な大声・騒音とは明らかに異なるこれらの女性の声が隣室まで漏れることはほとんどありませんし、似た症状や境遇を持つ入居女性どうしとしての深い理解もありますので、気にされることはないかと思えます。

エ) 持続性性喚起症候群（PSAS）や女性器・肛門痙攣の症状に耐える際のかきむしり用タオルなどの持ち込みについて

症状に耐える際に、かきむしったり握ったりするタオルなどが必要な女性は、それらを持ち込んでかまいません。

ただし、シェアハウス生活の中で、物を大切に扱う姿勢は持っていただきたいため、バスタオルや布団などの大きなもの、特にハウスでまとめ買いしたものをかきむしり用にすることは、ご遠慮いただいております。

オ) 過剰な量のアダルト媒体・性玩具の持ち込み対策について

入居時に過剰な量のアダルトビデオ・雑誌や過激な下着・ランジェリー類・性嗜好玩具などを持ち込もうとする性依存女性につきましては、ご本人とスタッフ・他の入居仲間との話し合いのもと、最初に持ち込む量を決めます。また、18歳未満だった時期のご自身を不特定多数の人に頒布・販売する目的で撮影した児童ポルノ写真などは、廃棄していただきます。

その後も徐々に、女性としての社会生活に影響がない程度にまで性関連グッズの所持量を減らしていくなど、日常生活の中で無理せず色々な試みをおこなっています。

カ) マスターベーション・オーガズム・アダルトコンテンツ（AV など）依存のリハビリ

当シェアハウスでは、マスターベーションへの依存、生理的快感そのもの（オーガズム、乳頭の快感など）への依存、アダルトコンテンツの閲覧への依存など、犯罪性のない当該女性の単独での性行為・性行動への依存につきましては、生活に支障が出たり怪我をするおそれがあるほどの（またはワンクリック詐欺などの犯罪に巻き込まれるような）重度の依存でない限り、特に問題視しておりません。

個室内での各自の女性の私生活・行動につきましても、内規違反がない限り、自由とさせていただきます。

また、これらの女性には、研究会において、性に恐怖感・嫌悪感を持つ性被害女性に向けて、ご自身のマスターベーションやオーガズムの経験などの性の楽しみを語っていただく機会も設けています。

ただし、社会生活に影響が出る程度の依存につきましても、性行為・性行動の頻度を減らすなどのリハビリに取り組んでいただいております。

キ) 性玩具・アダルトグッズ依存のリハビリ

マスターベーション用の性玩具・アダルトグッズ（ローター・電マ・パイプ・ディルド・アナルグッズ・SMグッズなど）への依存につきましても、オ)のような重度の依存でない限り、当シェアハウスでは特に問題視しておりません。

個室内での各自の女性の私生活・行動につきましても、内規違反がない限り、自由とさせていただきます。

また、これらの女性には、研究会において、性に恐怖感・嫌悪感を持つ性被害女性に向けて、ご自身の性玩具・アダルトグッズを使ったマスターベーションやオーガズムの経験などの性の楽しみを語っていただく機会も設けています。

ただし、社会生活に影響が出る程度の依存につきましても、性行為・性行動の頻度を減らすなどのリハビリに取り組んでいただいております。

ク) セックス・女性間性行為・性的倒錯（異常性行為）依存のリハビリ

これらへの依存女性につきましても、上記の場合と異なり、それぞれの女性に応じた一定以上のリハビリをおこなっていただいております。

何よりもまず、当シェアハウスは男子禁制であることから、不特定多数との性行為への依存などの克服のためにこそ、適しています。

また、女性間性行為依存・同性愛依存の場合も、女性シェアハウスという共同生活の場に身を置いていただくわけですから、節度をわきまえて行動していただくこととなります。

これらの二点につきましても、犯罪性の有無ではなく、当団体・シェアハウスの内規・風紀上のポリシーですので、ご了承いただければ幸いです。

性的倒錯（異常性行為依存）の女性につきましても、法や倫理に触れるような性行為・性行動（野外露出など）をおこなってきた女性につきましても、真っ先におやめいただき、やめられない（再開した）場合はご入居の拒否または退去処分とさせていただきます。

法に触れなくとも一般的な観点から異常性が高いと見られる性行為・性行動 (SM・スカトロロジー・フェティシズムなど) 依存の女性につきましては、社会的に問題がない程度となるまではご入居いただけず、またご入居後も、一般的な女性に見られる範囲内の性行為・性行動に戻れるよう、しっかりとリハビリに取り組んでいただいております。

ケ) アダルトコンテンツ (AV など) 出演・援助交際・売春・性風俗業依存のリハビリ

これらへの依存女性につきましては、特にしっかりとリハビリをおこなっていただいております。

AV 出演への依存が見られる女性につきましては、日本の国内法で合法的な作品 (特に性器が修正された上で流通するもの) に自らの意志で出演し、社会生活の破綻が見られない場合は、過去の AV 出演について当シェアハウスが特に口を挟むことはありません。

ただし、その中で、当シェアハウス (第三者) にとって存在の証明が困難である性被害 (撮影中のレイプ) に遭った場合、性被害者として当シェアハウスの性被害タイプの個室に避難・ご入居されることはできなくなりますので、ご注意ください。

日本の国内法で違法とされる作品 (性器が無修正で国内からアップロードされた作品や、実際のレイプや公衆トイレの盗撮などが記録された作品) につきましては、性器が無修正で国内から頒布されることを知って出演した場合については、ご入居いただけません。

一方で、性器が修正されるなどの合法的な契約の元で AV 出演したにもかかわらず、後に意志に反して性器が無修正の AV として国内から流通していることが判明した場合につきましては、被害女性を当シェアハウスにて保護することがあります。(そのままご入居も可能です。)

援助交際・売春への依存が見られる女性につきましては、真っ先におやめいただき、やめられない (再開した) 場合はご入居の拒否または退去処分とさせていただきます。

デリバリーヘルスなどの性風俗業就業への依存が見られるにつきましても、真っ先にご退職いただき、やめられない (再就業した) 場合はご入居の拒否または退去処分とさせていただきます。

3) 地下シェルター

レイプ・重度の性的暴行の被害女性や、オーガズムが過剰な持続性性喚起症候群 (PSAS) の女性のため、地下の一室をシェルターとして整備しております。

他の部屋に比べて堅牢な造りになっており、個室 A~D・E~H の両タイプでおこなっている各種対策を優先的にこなっております。

（ただし、シェルターを地下に設ける意味は、「外部・地上との距離を保つことで、恐怖心や性的苦悩を和らげること」以外には特にないため、ご留意下さい。地下シェルター以外の地上の各部屋も、同様のセキュリティを確保してあります。）

4) 個室 A~D で生活している女性のタイプ一覧（精神症状の女性）

個室 A~D では、以下の精神症状を抱える女性が暮らしています。

ただし、私たちは、あくまでも自助努力（心と生計の支え合い）による女子シェアハウスであり、対応に一定以上の人員・体力・資格が必要な★印の障害女性については、場合によっては受け入れを辞退し、医療機関や自治体、信頼できる NPO の施設をおすすめさせていただくことがあります。

また、☆印の障害女性については、医学的治療を受けたい場合は、該当する障害を扱っている日本の正規の医療施設そのものがほとんどないため（国内の現状では、ほぼ美容整形外科や催眠療法などによる施術になります）、代わりに海外の施設や自然環境での施術、リハビリ、レクリエーションを紹介し、渡航費・滞在費を当シェアハウスで負担しております。

ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

紫色は、世界保健機関（WHO）の ICD-10 による障害・疾病のコード。順序については、ICD と米国精神医学会（APA）の DSM の折衷案であるため、やや番号が前後している。

- ICD-10 F00-F09 器質性精神障害
- ICD-10 F20-F29 統合失調症
- ICD-10 F30-F39 気分障害
 - ICD-10 F22 F30-F39 コタール症候群・妄想性人物誤認症候群
- ICD-10 F40-F42 不安障害・恐怖症・強迫性障害・心的外傷後ストレス障害（PTSD）
 - ICD-10 F40 恐怖症性不安障害（広場恐怖、社会恐怖、社交不安障害（SAD）、赤面恐怖症、先端神経症）
 - ICD-10 F41.0 恐慌性障害（パニック障害、挿間性発作性不安）
 - ICD-10 F41.1 全般性不安障害（GAD）
 - ICD-10 F42 強迫性障害（強迫思考、強迫儀式）
 - ICD-10 F43 重度ストレス反応（急性ストレス障害、心的外傷後ストレス障害（PTSD）、性的暴行に対する戦闘疲労、疲憊せん妄）
 - ICD-10
- ICD-10 F43 適応障害
- ICD-10 F44 解離性障害

- ICD-10 F44.0 解離性健忘
- ICD-10 F44.1 解離性遁走 (フーグ)
- ICD-10 F44.2 解離性昏迷 (カタレプシー、性的暴行への受動的反撃としての意識昏迷)
- ICD-10 F44.3 トランス及び憑依障害
- ICD-10 F44.4 解離性運動障害 (失立、失声、振戦、性的暴行への受動的反撃としての離脱症状)
- ICD-10 F44.5 解離性痙攣 (解離性痙攣、自律神経発作、性的暴行への受動的反撃としての憤怒痙攣発作)
- ICD-10 F44.6 解離性感覚脱失 (難聴、性的暴行への受動的反撃としての知覚喪失)
- ICD-10 F44.7 混合性解離性 (転換性) 障害
- ICD-10 F48.1 離人・現実感喪失症候群
- ICD-10 F45 身体表現性障害
 - ICD-10 F45.2 心気障害、心気症 (異形恐怖、醜形恐怖症)
 - ICD-10 F45.3 身体表現性自律神経機能不全
 - ICD-10 F45.4 持続性身体表現性疼痛障害
- ICD-10 F50 摂食障害 (拒食症、過食症、嘔吐、指ダコ)
- ICD-10 F51 非器質性睡眠障害
 - ICD-10 F51.4 睡眠時驚愕症 (夜驚症、性的暴行のフラッシュバックによる驚愕・夜泣き)
 - ICD-10 F51.5 悪夢
- ICD-10 F52-F53 F64-F66 性関連障害
 - ICD-10 F52.7 F65 ☆ニンフォマニア (女子色情症・Nymphomania)
 - ICD-10 F65 ☆パラフィリア (性的倒錯・Paraphilia)
- ICD-10 F60-F63 人格 (パーソナリティー) 障害
- ICD-10 F70-F79 ★知的障害
- ICD-10 F80-F89 ★発達障害・学習障害
 - ICD-10 F84.2 ★レット症候群：米国精神医学会 (APA) の DSM では項目削除の方針。
 - ICD-10 F80-F89 読字障害・失読症・ディスレクシア
 - ICD-10 F80-F89 に付随する特異的高知能と見なされる サヴァン症候群
- ICD-10 F90-F98 ★小児期・青年期の行動障害
- ICD-10 などに定義なし (障害・疾病と見なされない) 共感覚
- ICD-10 などに定義なし (障害・疾病と見なされない) 直観像記憶 (映像記憶)

- ICD-10 F40-F48 に付随する巨視感・微視感 不思議の国のアリス症候群
- ICD-10 などに定義なし (障害・疾病と見なされない) 絶対音感
- ICD-10 などに定義なし (障害・疾病と見なされず、F30-F39 や F40-F42 としての診断が多) Highly sensitive person (HSP)

5) 個室 E~H で生活している女性のタイプ一覧 (身体症状の女性)

個室 E~H では、以下の身体症状を抱える女性が暮らしています。しかし、ここに挙げた症状も、精神的・心理的ストレスや暴行・虐待被害によって引き起こされる場合がありますので、場合によっては、個室 E~H から個室 A~D への移動も可能です。

ただし、私たちは、あくまでも自助努力 (心と生計の支え合い) による女子シェアハウスであり、対応に一定以上の人員・体力・資格が必要な★印の障害女性については、場合によっては受け入れを辞退し、医療機関や自治体、信頼できる NPO の施設をおすすめさせていただきます。

また、☆印の障害女性については、医学的治療を受けたい場合は、該当する障害を扱っている日本の正規の医療施設そのものがほとんどないため (国内の現状では、ほぼ美容整形外科や催眠療法などによる施術になります)、代わりに海外の施設や自然環境での施術、リハビリ、レクリエーションを紹介し、渡航費・滞在費を当シェアハウスで負担しております。

ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

紫色は、世界保健機関 (WHO) の ICD-10 による障害・疾病のコード。順序については、ICD と米国精神医学会 (APA) の DSM の折衷案であるため、やや番号が前後している。

- ICD-10 G24 ★ジストニー
- ICD-10 G25.8 ★むずむず脚症候群 (下肢静止不能症候群)
- ICD-10 G40-G47 挿間性および発作性障害
 - ICD-10 G43.0 普通型片頭痛
 - ICD-10 G43.1 古典型片頭痛・閃輝暗点型片頭痛
 - ICD-10 G43.2 片頭痛発作重積
 - ICD-10 G44.2 緊張性頭痛
 - ICD-10 G47.0 不眠症
 - ICD-10 G47.1 過眠症
 - ICD-10 G47.2 概日リズム睡眠障害
 - ICD-10 G47.4 ★ナルコレプシー
 - ICD-10 G47.4 ★情動脱力発作 (カタプレキシー)
- ICD-10 G61 ★炎症性多発性ニューロパチー、ギラン・バレー症候群

- ICD-10 G90 自律神経失調症
- ICD-10 K55-K63 腸のその他の疾患
 - ICD-10 F45.3 K59.4 肛門痙攣 (肛門過敏症)、肛門神経症
 - ICD-10 K62.2 肛門脱 (脱肛)
 - ICD-10 K63.2 糞瘻
- ICD-10 N80-N98 女性生殖器の非炎症性の障害
 - ICD-10 N81 女性性器脱
 - ICD-10 N89.6 処女膜輪狭小
 - ICD-10 N90.5 外陰萎縮
 - ICD-10 N90.6 外陰肥大
 - ICD-10 F45.3 F52 N94 ☆持続性性喚起症候群 (PGAD・PSAS)、性器神経症
 - ICD-10 F45.3 F52 N94 ☆むずむず性器症候群 (ReGS・RGS)、性器神経症
 - ICD-10 F45.3 F52 N94 ☆陰核過敏症 (クリトリス痙攣)、陰核神経症
 - ICD-10 F45.3 F52 N94 ☆ Vulvodynia (Vulvodynia)、性器神経症
 - ICD-10 F45.3 F52.5 N94.2 ☆ワギニスムス (膣瘻・膣痙攣・Vaginismus)
 - ICD-10 F45.3 F52 N94 ☆クリトロディニア (Clitorodynia)、性器神経症
- ICD-10 N96 習慣流産
- ICD-10 Q50-Q56 生殖器の先天奇形
 - ICD-10 Q52 ☆女性性器のその他の先天奇形
 - ICD-10 Q52.0 ☆膣の先天 (性) 欠損 (ミュラー管無発生、メイヤー・ロキタンスキー・キュスター・ハウザー症候群)
 - ICD-10 Q52.1 ☆重複膣
 - ICD-10 Q52.2 ☆先天性直腸膣瘻
 - ICD-10 Q52.3 ☆処女膜閉鎖
 - ICD-10 Q52.4 ☆膣のその他の先天奇形
 - ICD-10 Q52.5 ☆陰唇癒合
 - ICD-10 Q52.6 ☆陰核の先天奇形
 - ICD-10 Q52.7 ☆外陰のその他の先天奇形
 - ICD-10 Q52.8 ☆女性性器のその他の明示された先天奇形
 - ICD-10 Q52.9 ☆女性性器の先天奇形, 詳細不明

- ICD-10 Q80-Q89 その他の先天奇形
 - ICD-10 Q83.1 ☆副乳房 (Polymastia)
 - ICD-10 Q83.3 ☆副乳頭 (Polythelia)・副乳輪 (Polythelia Areolaris)

7. 現在の入居状況

1) 国内施設 (東京本部)

お問い合わせ下さい。

2) 海外ハウス

お問い合わせ下さい。

8. 入居案内

1) 入居の条件

●18歳以上 (例外措置あり) の独身女性のみご入居が可能です。ただし、既婚女性であっても、結婚 (共同) 生活が当初から事実上存在していないか、破綻している女性は、ご入居を認めております。

(一般男性は入居・立ち入り共に不可。ただし、特別に許可された専門家・研究者・医療関係者、加害者を除く二親等以内の親族男性 (加害者でない場合に限る)、警備保障会社の警備員、消防・ガス設備点検員、水道局員、庭師、女性現実研究所の最高代表スタッフを兼ねる特別顧問・システム管理者の男性などの立ち入りは可。)

●ご入居女性の国籍は問いませんが、全てのスタッフとほとんどのご入居者が日本人で、会話・生活・会議は全て日本語で行われます。これまでの日本人以外のご入居者の国籍は、韓国、中国、台湾、香港、フィリピン、ベトナム、タイ、インドネシア、アメリカです。

●ご入居に際しては、賃貸借契約が必要です。

●ご退居は自由です。(ご退居月の賃料はお支払いいただきます。)

●入居女性は、ご入居中はもちろん、ご退居後も、他の入居女性の個人情報・性被害・性依存・性関連症状・精神障害や事務局・シェアハウスに関する情報を口外することは禁止とさせていただきます。

インターネット上で当シェアハウスについての情報公開を行うことも禁止とさせていただきます。

ご退居後も、加害者である親族や悪質やNPO 法人・公益法人・アダルトビデオ事業者などからの被害女性の保護に、ぜひともご協力下さい。居住地の情報を加害者に知らせないよう自治体や警察から推奨されている被害女性が、あなた方が暮らして下さった部屋に新たに入居しています。

●現在、新規のご入居は、女性スタッフ・入居女性の紹介による場合がほとんどとなっております。

（もしインターネットからお申込みいただいた面識のない女性の場合、ご入居はかなり難しくなります。）

●お一人住まいからご姉妹での同居まで、一通り対応しております。

●部屋に空きがない場合はお待ちいただくこととなりますが、ご理解いただければ幸いです。

2) 入居をお断りしている女性

◆次の場合は、入居申請をお断りしております。

●性被害を受けたものの、加害者とは別の、身元引き受けを容易に依頼できる身寄りの家族・親族などがいる女性

●既婚女性（上記の条件を満たす場合はご入居可。）

●お子様連れの女性

（お子様がいる場合は、当シェアハウスではなく、自治体・NPO などの女性シェアハウスにご入居下さい。）

●性ボランティアではない活動を性ボランティアと自称している女性

（四肢の不自由な障害者から対価を得て職業として性行為をおこなっている性風俗業就業女性など）

●反社会的な活動をおこなっている団体等と関係のある性被害・性依存（性的倒錯）・性症状の女性

●自らの意志による出演許諾・出演契約締結のもとでアダルトビデオなどに出演したり、自らの意志で性風俗関連産業に従事したりしている中で、性的暴行を受けた女性

（ご入居には、自らの意志に反して強要・脅迫・暴行のもとでアダルトビデオに出演させられたり性風俗関連産業に従事させられたりしたことが必要です。被害女性側に倫理上・法律上の瑕疵・落ち度がないことの証明が当シェアハウスのスタッフの手では不可能な場合は、心苦しいながらもご入居をご遠慮いただいております。

レイプ物・SM 物・スカトロジー物・乱交物・野外露出物・女子校生物・レズ物などの過激な AV であっても同様です。

詳しくは、自らの意志で AV・アダルト動画などに出演したりセックスワーカーとして働いたりしている女性のご入居についてをご覧下さい。）

3) 入居の方法

* ご入居までの手続きは以下の通りです。

1. メール相談

（これ以降、8.までは、キャンセルを含めてすべて無料です。ただし、郵便物の送料は除きます。加害者に情報が漏れないようご注意ください。）

2. 順番待ち

（この期間中も、メールでのご相談内容は随時拝見し、繰り上げ時や幹部会での検討事項とさせていただきます。）

3. 国・自治体・警察・公益法人・NPO 法人などの施設（シェルター・シェアハウスなど）へのご入居の推奨がふさわしい場合は、随時通告

4. 欠員により繰り上げ

5. 事務局・シェアハウスの所在地・電話番号・道順などをメールで提供し、私書箱を通じて郵便物の送受信を開始

（加害者が家族・同居人の場合、シェアハウスとご自宅との間での直接の郵便物の送受信は危険であるため、このような方法をとっております。加害者に情報が漏れないようご注意ください。ただし、民事訴訟法上の特別送達など、私書箱を通さないものは除きます。）

6. 幹部会にて検討

7. 総会にて承認

8. 事務局・シェアハウスの詳細情報を提供し、契約書・規約・入居マニュアルを送付

（加害者が家族・同居人の場合、直接の郵便物の送受信は危険であるため、事務局までお越しいただく場合があります。加害者に情報が漏れないようご注意ください。）

9. 入居・ハウスシェアリングの手続き

10. 引越し作業

●精神症状・身体症状についてのメールのやりとりは、いつでもご自由です。被害や依存の詳細をご自由な形式でお送り下さい。（入居の順番待ちの期間を含む。）

特に、性被害の状況、加害者についての情報、後遺症や精神障害の有無についても、可能な限りご教示いただいております。

●空きが出ましたら、事務局・シェアハウスの所在地・電話番号・間取りなどの情報をメールでお教えいたします。また、事務局の私書箱をお教えいたします。（ご本名や現在のご住所を確認させていただくため、ご指定のご住所に仮の郵便物を郵送し、その後にご入居時の必要書類を郵送いたします。）

ただし、同居する親族が加害者であるなど、書類・メールの送受信やお電話でのやり取りが困難・危険である場合は、事務局までお越しただければ、必要書類の受け渡しが可能

能です。さらに、被害・依存・症状の内容により、優先的に避難・ご入居をお勧めするに足ると判断される女性である場合は、スタッフのほうから出向くことがあります。

4) 例外措置

●性風俗業などに就業していてほとんど帰宅しないシングルマザーなどの子で、ネグレクトの被害のおそれのある18歳未満の女子児童や、無戸籍であるなどの特殊な事情により身分証明ができないために、自治体や民間法人が運営する施設との入居・賃貸契約の締結や公的年金・健康保険への加入、自治体や警察への駆け込みなどができない女性については、例外措置を講じ、一時的に保護することがあります。

この場合、数日間、無償で居住スペースや食事の提供をおこなっています。ただし、法律上不可能なこともございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

5) 退去処分

◆次の場合、退会・退去処分となります。

- 契約・規約やシェアハウス規則に反する行為をした場合
- 入居契約時に個人情報をご偽って契約していたことが判明した場合
- 違法行為をおこなった場合（万引き・窃盗・違法薬物など）
- スタッフが許可した男性以外の男性をシェアハウスの敷地内や建物内に案内した場合
- 入居人数の変更や変更予定（妊娠・出産の事実、姉妹・友人の同居の予定など）を前もって報告しなかった場合
（ご入居以前の性的暴行による妊娠の可能性を早期に調査するためにも、ご報告をお願いしております。）
- 加害者である配偶者・パートナー・親などのもとに子を残したまま自分自身のみシェアハウスに入居していることが判明した場合
（ネグレクトに該当しますので、入居女性を自治体や警察に通報します。）
- 他の入居者と重大なトラブルを起こしたり、当シェアハウスが所有する設備・什器備品・植物などを意図的に損壊したりした場合

6) 幹部スタッフへの登用について

●代表・副代表・総務部長・経理部長などの事務スタッフ幹部は、二年に一度行われる幹部選出選挙にて選出されます。

7) 調査通告部の幹部スタッフへの登用について

●調査通告部では、主に性被害女性によって持ち込まれたアダルトコンテンツ（ホームビデオ・雑誌・動画・画像・下着などの私物）を調査・研究・保管しており、私たち女性自身によるこれらの作業は、精神的にも身体的にもかなり過酷な作業となっております。

とりわけ、持ち込まれたコンテンツの目視による確認の際には、強い精神力が要求されます。

（内容を確認し、さらに被害女性の希望があれば外部に通告しておりますので、事前に必ず全ての内容を閲覧することになります。）

作業は主に、性被害経験やトラウマのない（少ない）幹部スタッフが担っておりますが、精神的・身体的な強さがあり、身体的特徴（容貌やほくろなど）を見分ける能力やパソコン技術に長けた入居女性は、特に高待遇とし、これらの部門の幹部スタッフに登用することがございます。

ただし、これらアダルトコンテンツの目視に抵抗がなく、高いパソコン技術をお持ちの場合でも、違法なアダルトコンテンツの制作や性風俗業への就業経験のある女性は、まずは幹部スタッフだけでなく、入居自体ができませんので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

8) ご入居条件の厳格化について

現在、新規のご入居は大変狭き門となっております。誠に申し訳ございません。

当シェアハウスでは、2016年から2017年にかけて、各種の法律に基づき、自治体などによる書面調査や立ち入り調査が行われました。当シェアハウスでは特に問題はございませんでしたが、このような調査は、昨今の全国のシェアハウスや民泊の問題を受けて随時行われているものです。

当シェアハウスの場合、多様な精神・身体症状の女性が共同生活を送る場所であるという特徴もあり、数ヶ月に渡りシェアハウス内の備品（特にパソコン、スマートフォンなど）を調査され、外部女性の皆様と連絡が取れない状況にございました。この場をお借りし、心よりお詫び申し上げます。

今回のこれらの件を踏まえ、心苦しいながらも、新規のご入居の条件・権限をこれまで以上に狭くさせていただく運びとなりました。これにより、条件を満たす女性は、現時点でかなり絞られることとなります。

大変申し訳ございませんが、ご理解いただければありがたく、よろしくようお願い申し上げます。

【新規のご入居条件】

入居案内の条件に加え、

- 特別支援者や最高代表とすでに面識・面会経験のある女性
- 女性スタッフ、入居女性、関係する外部女性からご入居の紹介を受けた女性

【その他の新しい対策】

- 外部女性・非入居女性からお問い合わせやご相談のメールがあった際には、
 - ▽ すべて無料で丁寧にお答えする。

（当シェアハウスの都合で、ご入居いただくことやシェアハウス内の研究会・勉強会にご参加いただくことが難しい場合も、入居女性からのご相談と同様に丁寧に扱う。）

 - ▽ 女性スタッフだけでなく、できる限り最高代表にも内容をお読みいただき、連名や単独でご返信いただけるようにする。

（最高代表からのご返信は、当シェアハウスにお立寄りいただかずとも、ご自身の管理システム・パソコンから可能とする。）
- 入居女性のシェアハウス内での活動については（性被害、性依存、性症状に関するものであっても）、女性スタッフが監督するだけでなく、最高代表にも随時お伝えし、シェアハウスにお越しいただいた際には、活動をこれまで以上にお見せする。

9) 性感染症・性病の検査のお願い

重大な性的暴行を受けた女性には、性感染症・性病の検査と検査結果書類のご提出をお願いしております。

また、性依存や持続性性喚起症候群（PSAS）の女性で、きちんと衛生管理のできていない性玩具を使用したり、性器を傷つけるほどの激しい動きをしたりなど、不衛生な方法でのマスターベーションが日常化している女性の場合も、入居後の性感染症には十分にご注意下さい。

（精神的不調によりご自身で保健所などに出向くことが困難である場合、スタッフが付き添うことも可能です。）

10) 危険ドラッグなどの意図せぬ使用の可能性の報告のお願い

暴行・虐待などの際に危険ドラッグ（旧脱法ドラッグ）などを強制的に摂取させられた可能性のある女性には、スタッフで協力して公的機関・警察などへの相談・通報をおこなうため、できる限り入居時にその旨をご報告いただくようにしております。

11) 性被害の証拠となる書類・画像・動画などの提出のお願い

性被害の証拠となるメモや日記、録音などを残している女性には、スタッフで協力して公的機関・警察などへの相談・通報をおこなうため、できる限り入居時にお持ちいただいております。

（精神的不調によりご自身でのご持参が困難である場合、スタッフが取りに出向くことも可能です。）

12) 被写体として強制的に出演させられたアダルトビデオ（AV）などのご教示のお願い

アダルトビデオ・アダルト雑誌・アダルトサイトなどへの強制的な出演・登場を脅迫や暴行のもとに強いられたり、入浴・着替え・排泄の様子を盗撮されるなどして意図せずこれらに出演・登場させられたり、それらをリベンジポルノとしてばらまかれたりした女性のうち、ご自身が出演・登場した商品やサイトが具体的にお分かりの方には、スタッフや入居者で協力して公的機関・警察などへの相談・通報をおこなうため、できる限り入居時にご教示いただいております。

すでに商品などとしてお手元にある場合はお持ちいただくことを推奨しますが、まだお手元がない場合は、安易に購入しないで下さい。違法業者のさらなる犯罪の資金源になることを防止するため、まずは当事務局で内容を調査し、業者に無償での譲渡を要求しています。

（精神的不調によりご自身でのご持参が困難である場合、スタッフが取りに出向くことも可能です。）

13) 自らの意志で AV・アダルト動画などに出演したりセックスワーカーとして働いたりしている女性のご入居について

私たちのシェアハウスは、残念ながら、以下のサイトにあるように自らの意志で AV・アダルト動画などに出演したりセックスワーカーとして働いたりした（性行為・性的サービスの提供によって対価・利益を得た）経験がありながら、それを性被害と主張するに至った女性を、受け入れることができません。

撮影現場や性的サービスの提供場所で性被害に遭った女性についても同様で、心苦しいながらも、当シェアハウスの総会（入居女性の全員で構成）が積極的に対応することはないと思っていただいて差し支えないかと存じます。

当シェアハウスの幹部スタッフのみが議論する幹部会では、ご家庭の事情などを考慮してなるべく善処いたしますが、総会にてご入居が否決される場合がありますことをご理解いただきますようお願い申し上げます。とりわけ、不安障害・恐怖症・強迫性障害・PTSD・

潔癖症などの入居女性により、ご入居が否決される場合があります。

(過半数の入居反対で否決となります。)

出演作品の商品としての流通や性的サービスの提供に伴う長期的な対価を得た上で性被害に遭った女性たちについては、特に受け入れることができない状況です。それは、レイプ物・SM物・スカトロシー物・乱交物・野外露出物・女子校生物・レス物などの過激なAVや動画への出演であっても同様です。

その理由は、「AV出演そのものがAV製作者側による強制・契約違反であるケース(暴行などにより強制的に建物などに連れ込み、衣服を脱がせて被害女性を撮影し、売りさばいたケースなど)」への対応を優先するためです。

また、このような一方的な性被害のほか、重い性依存・持続性性喚起症候群(PSAS・PGAD)などに悩む女性たちを優先的に受け入れているためでもあります。

大変難しいテーマではありますが、女性たち自身の意志による過激なAVへの出演や援助交際・売春であっても社会的・倫理的責任はそれらを鑑賞・利用する側(特に男性)にあると考えていらっしゃる女性、これらの過激なAVや性風俗業が女性への性的搾取であると考えていらっしゃる女性は、心苦しいながらも、私たちとは立場が異なるということにもなると思いますので、他の女子シェアハウスをお選びいただければと考えております。

以下のサイトにも「強要」とありますが、契約を結んだ以上、出演そのものは「強要」ではないと私たちは考えます。その後問題が起きても、「脅迫」や「傷害」や「暴行」など別件で処理されるべき(私たちのような自助グループではなく、警察や司法によって処理されるべき)だと考えます。第三者の無理な介入は、一度は頭の片隅で「AVに出よう」と思って契約を許諾した女性の自由意志に反するとも言えます。

従って私たちは、公的機関への通報の協力は致しますが、残念ながら、このような女性の方々を受け入れるだけの余力とご入居スペースは持ち合わせていないことを、ご理解いただければ幸いです。

私たちのポリシー・主義ですので、ご理解いただければと思っております。

★↓当シェアハウスが受け入れることができない女性たちの例

AV出演を強要される被害が続出〜女子大生が続々食い物になっています。安易に勧誘の
らず早めに相談を

<http://bylines.news.yahoo.co.jp/itokazuko/20140816-00038321/>

AVに出演していて、困った問題に直面された方へ

<http://paps-jp.org/aboutus/help/>

AVに出演させられそうになっている方へ

<http://paps-jp.org/aboutus/coerce/>

14) 個室から管理室・管理人への連絡

シェアハウスの各個室・各トイレ・各バスルームには、管理室および管理人の携帯機器への緊急連絡ボタンを設置しております。フラッシュバックなどによる心身の異常を感じた際や、入浴・着替え・夜間のトイレの付き添いの要請などにご使用いただけます。

15) 一時保護について

入居条件を満たさない被害女性であっても、一時的にシェアハウスで保護する場合があります。

16) ひきこもり・うつ防止 (散歩・ジョギング)

不定期ですが、入居女性皆でグループに分かれて散歩・ジョギングをしております。性被害のトラウマやフラッシュバックを和らげる上でも、性依存・性的倒錯の苦悩を和らげる上でも、散歩・ジョギング、そして適度に日光に当たることは、極めて有効です。とりわけ、ひきこもり・うつ防止に役立ちます。その他の旅行などのイベントへの参加は任意ですが、散歩・ジョギングだけは一定回数以上のご参加をお願いしております。

17) 避難訓練・消防設備の点検などについて

シェアハウスの運営においては、個人事業主かつ権利能力なき社団の代表であるオーナーと入居女性との間に、法律に従った通常の賃貸借契約が締結されているほか、自治体・電力会社・ガス会社・水道局・警備保障会社・庭師などとの間にも各契約が締結されており、入居女性にはそれらを踏まえた日程に従って生活していただいております。

そのため、入居女性には定期的な避難訓練への参加や各設備の点検の受け入れへのご協力をお願いしております。

(個室につきましても、点検員が足を踏み入れることとなりますが、スタッフが同行しますので、ご安心ください。)

18) 20代女性の梅毒感染の急増および検査のお願いについて

各種報道にもございますように、2015年以降、日本国内の20代女性(女子大生、主婦、OL)のあいだで梅毒が流行しており、2016~19年にかけて過去に例を見ない勢い

で急増し、現在ピークを迎えております。梅毒に感染しないよう、またシェアハウス内に梅毒を持ち込まないよう、入居者を含めて検査を徹底してください。

当シェアハウスでは、入居時点で性感染症・性病の検査をお願いし、罹患・持ち込みゼロを目指しております。

(ご自身の意識を高めるためだけでなく、レイプ被害者の被害時の感染を調べるためでもあります。)

19) 悪質な公益法人・NPO 法人などによる虐待・暴行・詐欺・人身売買等の被害女性のご相談・入居希望の増加および私たちの立場について

昨今、一般企業（会社法人）の悪質性については、「ブラック企業」、「パワハラ」、「セクハラ」などの言葉に見られるように、さまざまな形で問題となっておりますが、公益法人、NPO 法人、政府系法人などにも悪質な団体があります。

むしろ、子供・女性・障害者などの支援を直接担っているのはこういった法人ですが（であるべきですが）、こういった法人から被害を受ける方が後を絶ちません。

悪質性がきわめて高い団体についての情報をここで流しますので、ご参考にしてください。これらの団体に寄付をしたり、これらの団体から里親・里子の斡旋を受けないことを強く推奨します。

2015 年以降、以下の団体またはその支部・施設から種々の被害を受けた女性・母親・里子・女兒のご相談・入居希望が相次いでおり、改めてサイト上で注意喚起することといたしました。

残念ながら私たちは、18 歳以上の女性による、100%が個人事業主または私費によるハウスシェアリング形態の共益的な女子シェアハウスであり、子供を受け入れるなどの事業を行うことができません。

(私たちは、女性だけで作る一般家庭と言えるもので、まったく異質なものです)。

この場を借りて情報提供のみさせていただきます。

当シェアハウスとしては、とりわけ公益財団法人全国里親会については、その悪質性から、公益認定の取り消し、解散命令、役員・職員の刑事処分、支部・里親の元にある児童の保護が早急に行われるべきと考えます。

最近、「家庭で性被害や虐待に遭った女性や児童が国・自治体に駆け込み、国・自治体や委託先の公益法人・NPO 法人のシェルターや里親を紹介される →→ そのシェルターの職員や里親から性被害・虐待・パワハラなどに遭い、結局、それら加害者から遠方の（インターネットの不動産情報の上でも秘匿された）一般家庭やシェアハウスに落ち着く（事実上の長期民泊）」という例が増えています。

従って、被害者の落ち着ける場所が結果的に違法な場所であるケースが多くなっている現状を打開するため、ハウスシェアリングや民泊の概念は、外国人観光客に対してではな

く、まずは国内の（国や公益法人・NPO 法人による犯罪・違法行為の）被害者のために、拡大されるべきものであると私たちは考えます。

危険性の高い団体の名称： 公益財団法人 全国里親会

◆この団体には、下記の疑義や危険性があります。この団体を通じて里親・里子の斡旋を受けないことを強く推奨します。

●この団体に対する国からの助成金（公金）は、里親制度・児童虐待・犯罪などの調査研究にはほとんど使われていない。

（子供・被虐待児童の生活・支援に回されるべき多額の公金が、ほぼ役員の私的流用と事務局職員の人件費のみに充てられ、かつ隠蔽されている。）

●これらの隠蔽を行うため、毎年度国（内閣府）に提出している会計書類・財務諸表も虚偽の疑いがある。多額の預貯金が未掲載である。

●その監査書類も偽造している。

●団体に登録している、または団体が斡旋している里親に、著しい反社会性・犯罪性を有する者が含まれる。

虐待から子供を守ることを団体の主旨としながら、実際は虐待の加害者を登録・斡旋している。内閣府が公益認定し、厚労省が委託先としている大規模な公益法人であるにもかかわらず、斡旋している里親の質が看過できないほど低い。

（詐欺行為を行う里親、暴力団関係者、里子をアダルトビデオ業界・着エロ・児童ポルノ業界などに転売する里親、虐待・暴行・レイプなどを行う里親）

危険性の高い団体の名称： NPO 法人 全国おやこ福祉支援センター

◆この団体には、下記の疑義や危険性があります。この団体を通じて養親・養子の斡旋を受けないことを強く推奨します。

●団体に登録している、または団体が斡旋している養親に、著しい反社会性・犯罪性を有する者が含まれる。

虐待から子供を守ることを団体の主旨としながら、実際は虐待の加害者を登録・斡旋している。

（詐欺行為を行う養親、虐待を行う養親）

9. 組織図、各部班

（現在、当シェアハウスの組織は女性現実研究所の組織にならい再編されています。）

1) 組織図、入居者数、年齢

◆性被害部門

(主に性被害女性からの相談への対応や、シェアハウスの調査通告部、メンタルケア部への指示を担当。)

◆性依存部門

(主に性依存女性からの相談への対応や、シェアハウスのメンタルケア部、女性性愛問題研究部への指示を担当。)

◆性症状部門

(主に性症状女性からの相談への対応や、シェアハウスのメンタルケア部、女性性愛問題研究部への指示を担当。)

◆調査通告部

(被害女性や友人女性から訴えのあった性被害やアダルトコンテンツ関連被害について、シェアハウスの女性スタッフや入居女性どうして自助努力でできる限り調査しているほか、各担当部で発見された被害の公的機関への通報をおこなっています。)

●性暴力被害調査班

●サイバーパトロール班

●特別通告班

●アダルト媒体保管庫管理班

◆メンタルケア部

◆女性性愛問題研究部

(女性どうして自分たちの性被害・性依存(性的倒錯)・性症状の文化的・社会的・宗教的な側面について研究・調査しています。)

これまでに女性たちから出された研究テーマ・・・

性愛芸術、ヌード、ヌーディズム、ナチュラルズム、耽美派芸術、男女のセックス、異性愛、浮気、不倫、女性のマスターベーション、性玩具、アダルトグッズ、レズビアン、女性間性行為、ミソジニー、ミサンドリー、アセクシャル、ロリータ願望、処女願望、少女趣味、コスプレ、ニンフォマニア、パラフィリア、フェティシズム、ハイジニーナ、パイパン、サディズム、マゾヒズム、スカトロシー、被レイプ願望、対物性愛、PSAS、オーガズム異常、陰核過敏症、クリトリス痙攣、ヴルヴォディニア、ワギニスムス、クリトロディニア、肛門痙攣、性的苦悩、AV出演、援助交際、売春、性風俗業、セックスワーカー、性ボランティア、エログロ、昭和レトロ、猟奇、拷問、美容整形、クリトリス切除、性器ピアス、タトゥー、夜ばい、性的儀式、裸族、風習)

◆企画部

●イベント・研究会企画班

●冊子制作・配布班

◆相談室 (メール窓口)

◆海外渡航部

(PSAS によるオーガズムや性器痙攣を軽減する手術、吸引療法、電気刺激療法、ヌードリハビリ、ヌードレクリエーションなど、日本で行われていない手術、施術、リハビリ、レクリエーションをどうしても海外で受けたいという入居者に、渡航費・滞在費の一部を事務局から出しています。海外では、保険が効く場合があります。)

■入居者数： 43 名 (一部の幹部メンバーも入居または宿直)

■入居女性以外の女子シェアハウスメンバー女性： 18 名

■年齢： 18 歳～50 歳代 (最多は 20 歳代)

■男性支援者・協力者数： 6 名

2) 幹部女性の職種・資格一覧

●職種：

研究者、自営業、OL、デパート・アパレル・飲食店・雑貨店等の店員、美容師、インテリアデザイナー、保健師、管理栄養士、保育士、教諭、NPO 法人職員、独立行政法人職員、その他の団体職員、システムエンジニア、カスタマーエンジニア、主婦、女子大学生

●資格：

保健師、看護師、管理栄養士、栄養士、介護福祉士、臨床発達心理士、保育士、高校・中学校・小学校教諭、インテリアコーディネーター、司書、弁護士、宅地建物取引主任者、日商簿記 2 級など

3) 入居女性の職種・資格一覧

●職種：

女子大学生、女子高校生、女子専門学校生、デパート・アパレル・飲食店・雑貨店等の店員、主婦、自営業、OL、アルバイト、派遣、自治体職員、AV 女優、素人 AV 女優、性風俗嬢、無職

●資格：

多種多様です。

4) 特別設置組織 (大学などのゼミ・特別講座から移管したもの)

お問い合わせ下さい。

女性現実研究所 (Women's Real-Life Research Laboratory、WRLRL、ウィルール)

10. 入居女性の別参加団体

↓↓ 入居女性の別参加団体です。

パーシーの花園

Sexaholics Anonymous Japan

S-Anon JAPAN FAMILY GROUP

11. 同型の女子シェアハウス

↓↓ 私たちのシェアハウスと同様の三重構造（個室、シェアユニット、共用スペース）を持つ大学のシェアハウス型女性シェアハウスです。最近、大学の女子寮を中心に増えています。

女子シェアハウス KAIT ERIM 教育研究連携モデル生活棟（神奈川工科大学）

女子シェアハウスせせらぎ（明治薬科大学）

国際学友シェアハウス なでしこ（福岡女子大学）

昭和女子大学学生会館（昭和女子大学）